

●ボランティアニットの編み方   ～Mサイズ～

♥材料と用具

ウール 100%の並太毛糸（40g/75m） 600g。

棒針 6号（2本針）、5号（4本針）。

♥参考サイズ

胸囲 94cm、背肩幅 39cm、丈 55cm、袖丈 50cm。

♥参考ゲージ

10cm 平方で模様編み 26目・26段、メリヤス編み 18目・26段。

♥編み方のポイント

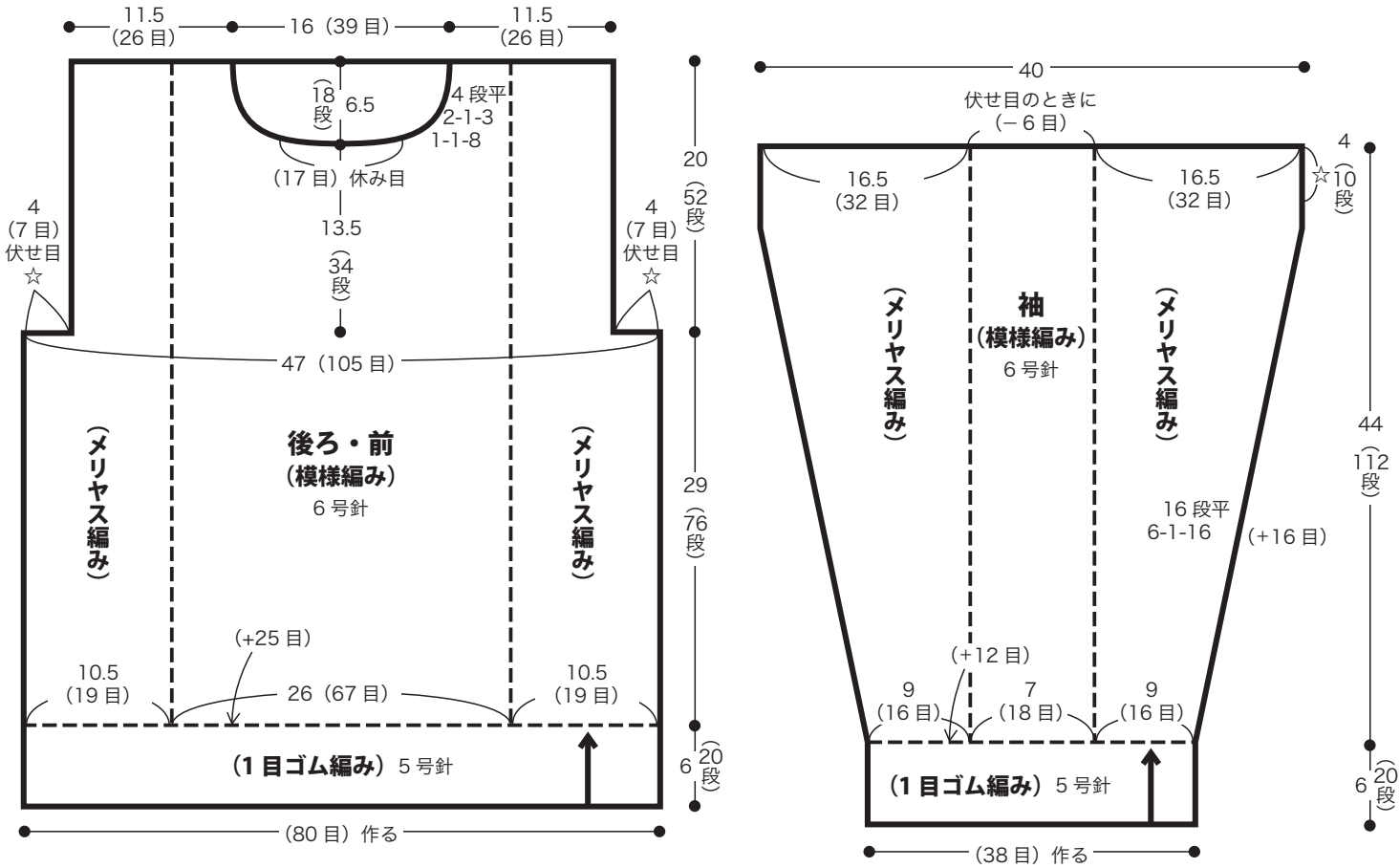
後ろ・前…5号針で指でかける作り目で編み始め、1目ゴム編みを編みます。6号針に替え、1段めでかけ目をしながら増し目をします。2段めで前段のかけ目をねじります。模様編みを始めます。脇を編み終えたら両端でソフトに伏せ目をして袖ぐりのまちを作ります。後ろはそのまま肩までまっすぐ編み、肩・衿ぐりを分けて休み目をします。前は衿ぐりの手前まで編み終えたら、中央の目を別糸にとるなどして休み目をします。左右の衿ぐりは図を参照して、肩まで編んで休み目をします。

袖…5号針で指でかける作り目で編み始め、1目ゴム編みを編みます。6号針に替え、1段めでかけ目をしながら増し目をします。2段めで前段のかけ目をねじります。模様編みを始めます。袖下の増し目は端から2目内側でかけ目をし、次段でねじる方法です。編み終わりは伏せ目をしますが、模様編みの部分で減目（－6目）をしながら目を止めます。

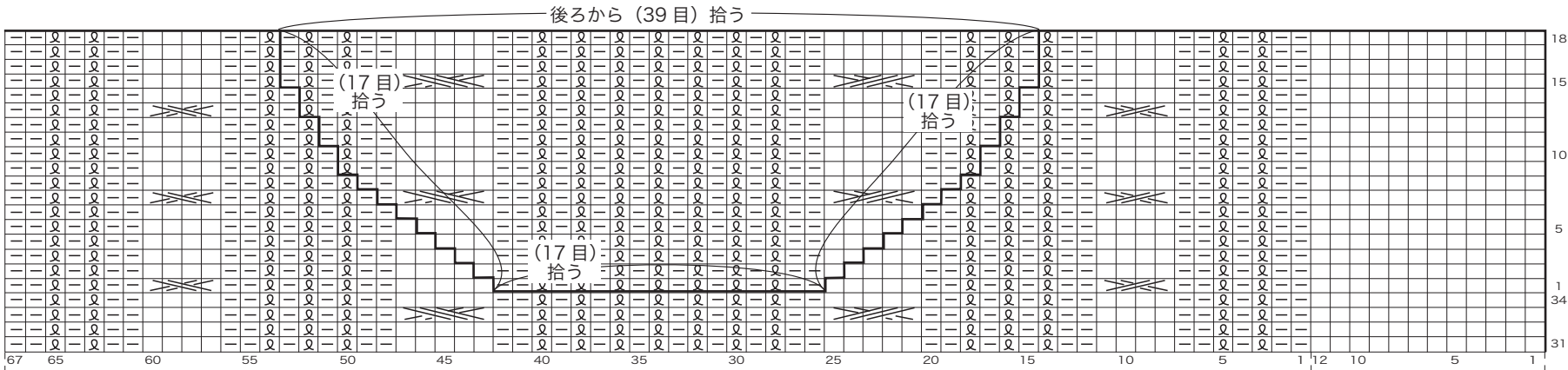
まとめ…肩は後ろ・前を中表に合わせてかぎ針で 1 目ずつソフトに引き抜きはぎをします。衿は図の位置から指定の目数を拾います。1 目ゴム編みを編み、編み終わりはソフトに伏せ止めをします。衿を裏側へ折り返し、頭が入るようにゆったりと編み終わり側を衿ぐりにまつります。袖付けは袖中心と肩線を合わせて表を見ながらつけるとバランス良く出来ます。袖ぐりのまちは☆印を合わせて身頃にとじ針で目と段のはぎをし、脇・袖下とはじ針で端から1目内側をすくいとじです。どちらも糸を引きすぎないように注意します。

<注意事項>

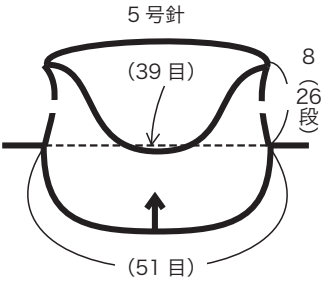
- ゲージは編む人によって異なります。標準ゲージに合わない場合は棒針の太さを変えたり、身幅・袖幅のメリヤス編み部分の目数を増減するなどして調節をしてください。
- 参考サイズを元にオリジナルデザインの作品を編んでも構いませんが、その際はスポーティでシンプルなデザインにしてください。（必ず丸首で、出来れば衿をダブルにしてください。）
- 糸の始末は裏側でとじ針を使って斜めに5 cm ほど目の中にくぐらせてください。糸端がどこにあるかがわかる程度の方が良く、きれいに隠さないようにしてください。
- アイロンはかけなくても構いません。かける場合は蒸気を当てる程度で、編み地を押さえないようにしてください。



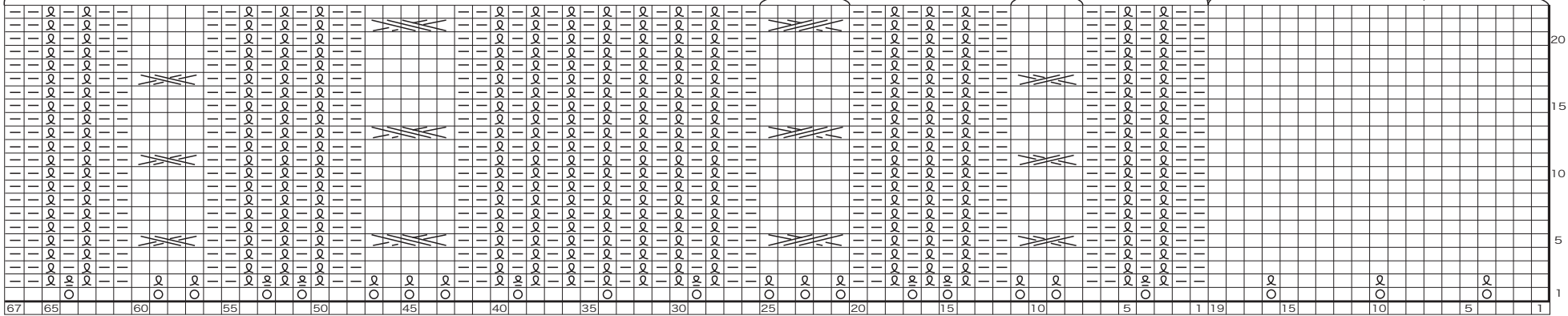
衿ぐりの編み方



衿 (1目ゴム編み)



後ろ・前の編み方



□ = 表目 □ = 裏目 □ = かけ目 □ = ねじり目 □ = 裏目のねじり目 後ろ・前中心  
= 右上 3 目と左下 2 目の交差 = 右上 2 目の交差  
= 左上 3 目と右下 2 目の交差 = 左上 2 目の交差

袖の編み方

